

大阪から共産党大躍進を

志位委員長迎え 7000 人

小雨、寒風吹き飛ばす熱気



「戦争か平和か—日本の進路が問われる選挙です。大阪が変われば日本が変わります。大阪から日本共産党を大躍進させましょう」。3日、志位和夫委員長を迎えて大阪・天王寺駅前前で演説会が開かれ、駅前に2000人、オンラインで4500人が視聴（再生回数3000回）。小雨が降り、冷たい風が吹き抜けるあいにくの天候でしたが、駅前の1階、2階デッキとも聴衆が広がり、熱気のこもった演説会。「久しぶりによく集まった」の声があちこちで聞か

れました。

比例・大門みきし参院議員、選挙区・たつみコータロ一前参院議員が決意表明、浄土真宗本願寺派僧侶・小倉宗平さん応援に立ちました。石川多枝府議、山中智子大阪市議の迫力ある訴えに拍手がわきました。

「風が冷たく、寒かったが、参加者が向こう側にもずらりとして、大変大きな参加だった。志位委員長の話は分かりやすく、とても元気になる話だった。まず、650万票、大阪70万票への決意から入り、大阪で維新政治をやめさせ、何としても議席増をとの訴えがよかった」などの感想が寄せられました。

業者の力で共産党・大門さん勝利を

近畿6府県の後援会代表・事務局長がオンライン会議

近畿6府県の業者後援会の代表・事務局長らが参加して4日、オンライン会議が開かれ、参院選勝利の活動を一気に強化することを確認しました。会議には全国業者後援会の太田義郎代表世話人、大門みきし参院議員、清水ただし前衆院議員も参加。活発な討論になりました。太田氏は「自民党や維新への一票は戦争への一票になることを分かってもらう必要がある。近く作成されるパンフで会員と対話を」と強調。「比例5議席へ近畿の活動を頼りにしている」と期待を述べました。大門さんは「やさしく強く経済」を資料を使いながら説明、勝利へともに頑張る決意をのべました。

林信一郎近畿ブロック事務局長が報告。予想される参院選公示まで2カ月半、必勝モードに切り替えること、総選挙の取り組みを発展させ、全構成員の立ち上がりとし新しい支持の拡大に全力をあげるよう訴えました。清水前衆院議員は参院選でも民商訪問を進めることをのべ、出足早い活動を呼びかけました。

討論では「4、5月に会員総当たりをし、6月には二度目の訪問を行いたい。グッズも作成する。励ましあって活動を」（大阪）「インボイス問題の取り組みに参院選を位置づける」（滋賀）「消費税は社会保障に使われていないと言ってきたが、社会保障は強い経済をつくる大事な問題という話にしていく」（奈良）などの発言がありました。反共攻撃への反撃する力を持つことも強調されました。

22近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 14(2022.4.5)